

MESHとダンボールなどを使って、人の役に立つものをつくろう B


実践概要

電子ブロック「MESH」の機能を組み合わせ、表したいこと、表し方などについて考え、班で協力して共同作品を作ったり、その発表会を行ったりすることを通して、造形的なよさや美しさ、創造的に発想や構想をすることができるようにする。


使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

- ・「MESH」 ソニービジネスソリューション
- ・「児童用タブレットPC (iOS)」


本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価内容等
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●本時のめあてを知る。 ・発表会で、班ごとの作品を鑑賞し、鑑賞カードによりよさや工夫の面白さを伝え合う。 ・他の班の友達に、自分たちが作った立体作品の内容や工夫したこと等を、手順を考えて分かりやすく伝える。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●班ごとに分かれ、立体作品について発表したり、他の班の作品を鑑賞したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分たちの活動の内容や手順等を、道筋を立てて書き出したり、友達に伝えたりしている。【思】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●学習を振り返る。 	

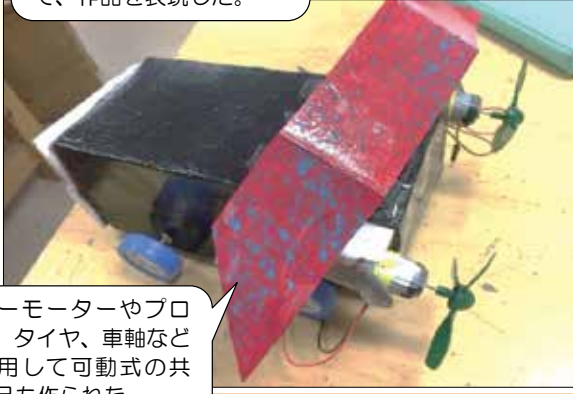
ここに注目！（本事例のポイント）



児童作品「ここみんな」
ビー玉コースターの終盤には、センサーやライトが組み込まれた。



「MESH」アプリを使い、画面上にある各ブロックの機能などを組み合わせ、作品を表現した。



ホビーモーターやプロペラ、タイヤ、車軸などを併用して可動式の共同作品も作られた。